

将来イメージ

将来の浜松市の姿をみんなで想像してみよう!



持続可能な農林水産業の促進と良好な生態系の保全

環境保全型農業推進

持続可能な森林管理

バイオマス利活用の推進

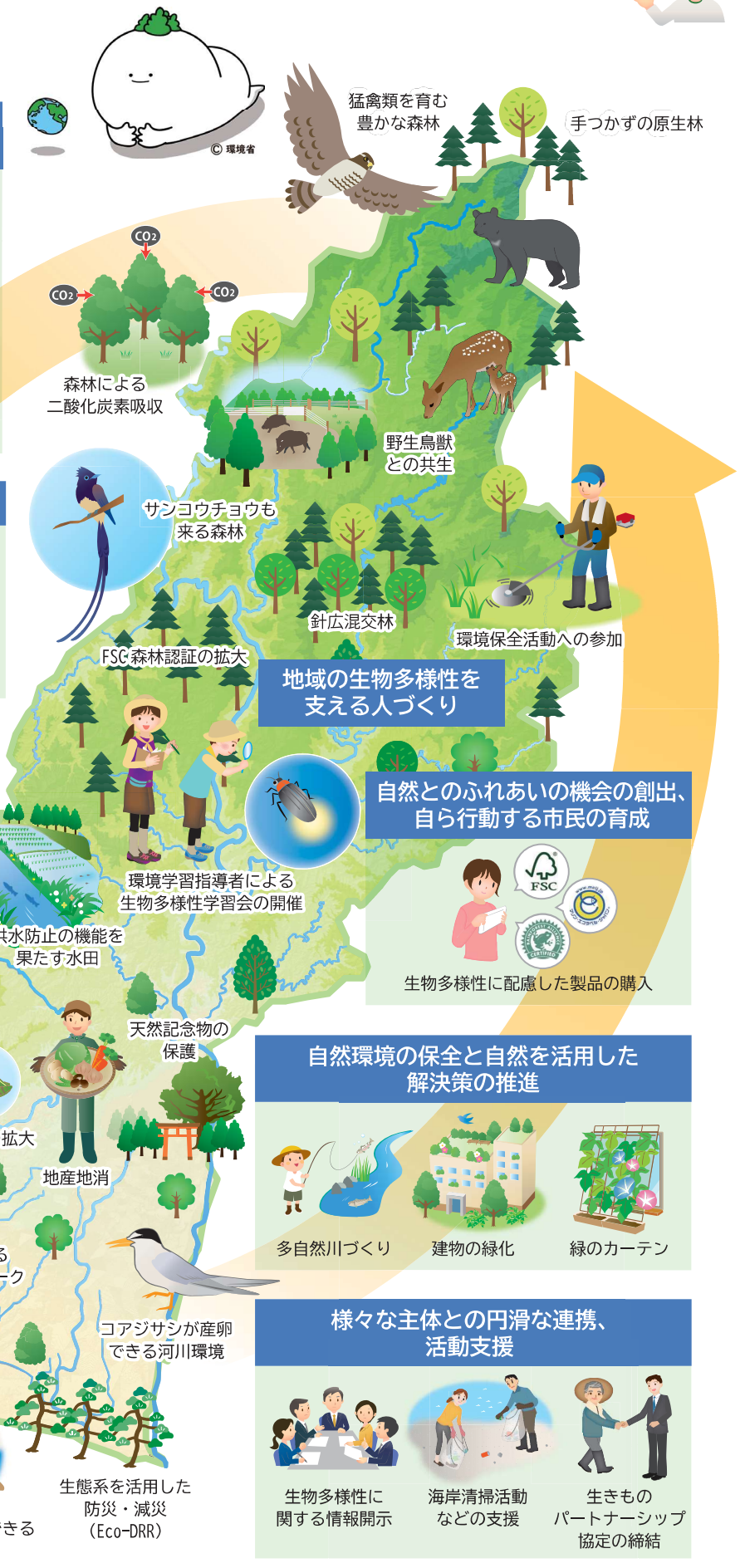
生物の生息・生育場所の保全

ヤリタナゴ保全事業

ギフチョウ保全事業

生物多様性に関わる情報の収集・蓄積・活用

市民参加による生物調査の実施



自然環境の保全と自然を活用した解決策の推進

多自然川づくり

建物の緑化

緑のカーテン

様々な主体との円滑な連携、活動支援

生物多様性に関する情報開示

海岸清掃活動などの支援

生きものパートナーシップ協定の締結

行動計画

みんなで取り組めば、大きな力になりそうね。



生物多様性を守っていくためには、市民・事業者・市民団体・専門家・行政などによる積極的な取り組みが必要です。日々の生活や事業活動などにおいて、できることから取り組んでいきましょう。



市民の取り組み



環境ラベルのついた商品の購入



外来生物の適切な取扱い



環境保全活動への参加



敷地内の緑化

事業者の取り組み



生物多様性に配慮した原材料の確保



排水の浄化



敷地内の緑化



生物多様性の保全に関する情報の公開

市民団体・専門家の取り組み



パートナーシップ協定の締結



自然観察会の開催・講師派遣



清掃活動の開催・参加



生物多様性の普及啓発

市の取り組み



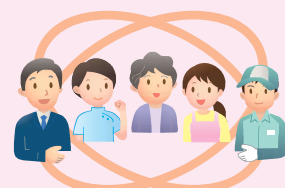
環境影響評価制度による生物多様性への影響の回避・低減



生物多様性に関する情報提供



学校などでの教育・学習



パートナーシップの構築

ネイチャーポジティブ・はままつプロジェクト

目指す将来像のサブタイトル「はままつから、“ネイチャーポジティブ”へ」を実現するため、重点プロジェクトとして4つの「ネイチャーポジティブ・はままつプロジェクト」を推進します。

プロジェクト 1 保護区域・自然共生サイトの拡大

市・事業者・市民活動団体などが管理する場所を「自然共生サイト」に登録します。また、自然公園、鳥獣保護区などの既に保護されている地域に関しては、より生物多様性の状態を向上させていきます。



浜松市の保護地域の割合は市全体の約34%であり、全国平均20.5%を上回っていますが、さらに増やしていきます。

自然共生サイトとは、企業の森など、民間等の取り組みによって生物多様性が保全されている区域を国が認定するものです。



プロジェクト 2 特定外来生物の防除

市内では、多くの特定外来生物（海外から日本に持ち込まれた生物）が確認されています。生きもののすみかを守っていくために、外来生物による影響を広く周知し、市民・事業者・市が協働して防除を実施していきます。



特定外来生物は、法律によって飼育・栽培したり、野外へ捨てたりすることが禁止されているんだって。



プロジェクト 3 パートナーシップ活動の拡大

海・山・川・湖などの広大な自然のある浜松市で、市民活動団体が保全活動をさらに広げていくためには、人手や資金面での協力などを含め、市民・事業者・市のさらなる連携が求められています。そのため、「浜松市生きものパートナーシップ協定」の締結をはじめ、保全活動に参加する市民・事業者のパートナーシップの裾野を広げていきます。



プロジェクト 4 はままつ生物多様性人づくり

地域の生物多様性を支えていくためには、市民が主体的に学び、考え、自ら行動することが必要です。また、市民活動団体では人材不足や高齢化が課題となっており、新規参加者が求められています。そのため、「浜松市環境教育推進ネットワーク」をさらに充実させることで、環境教育や環境保全活動の参加者を増やし、活性化していきます。



みんなで力を合わせて重点プロジェクトに取り組めば、浜松からネイチャーポジティブが広がっていくね。

これからは、ちょっと生物多様性のことを考えながら生活してみようかな。



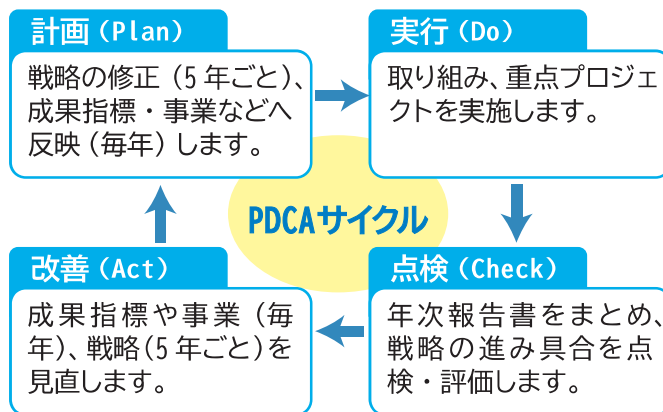
戦略の進め方

戦略を進めていくためのしくみも大事だね。



戦略の進行管理

本戦略の進行管理は、「PDCA サイクル」で実行します。具体的には、各担当課が「市の行動計画」に沿った事業を計画・実行し、実施状況を点検・評価しながら、毎年度見直しを行います。点検・評価にあたっては、環境審議会に報告し意見をいただき、市のホームページで公表していきます。



指標による状況把握

本戦略の進捗の状況を確認するための3つの成果指標と14の確認指標を設定します。

基本方針	成果指標	2022年度 現状値	2033年度 目標値
基本方針1 多様な生物のすみかの保全と回復	保護地域及び自然共生サイトの面積	53,551ha	53,700ha (+149ha)
基本方針2 生物多様性を守るしくみづくり	環境保全活動に参加した割合 (市人口に対する割合)	19.7%	30.0% (+10.3%)
基本方針3 生物多様性の恵みを将来につなぐ 人づくり	環境学習会に参加した市民の人数	10,272人	14,000人 (+36.3%)

確認指標 (数字は2022年度実績)

- クリハラリス推定生息数：5,000頭
- 環境保全型農業直接支払交付金の対象面積：8,885a
- FSC 森林認証面積：49,538ha
- 自然共生サイト登録数 (累計)：0 地点
- Eスイッチネットワーク登録団体数：40 団体
- 市が実施する交流事業の回数 (年)：36 回
- 市民協働による緑地保全活動に参加した市民 (年)：2,094 人
- 市民参加型生物調査の開催回数 (回 / 年)：1 回
- 環境学習指導者養成講座による人材育成人数 (累計)：92 人
- 浜松市みどりの人材支援プロジェクト参加人数 (年)：57 人
- Eスイッチプログラム受講者数 (年)：5,872 人
- 森林・林業体験活動への年間参加人数 (年)：1,994 人
- 農林漁業体験プログラム数：96 件
- 農村漁家民宿宿泊者数 (年)：446 人

成果指標の目標年度は2033 (令和15) 年度とし、2028 (令和10) 年度に中間見直しをします。



確認指標により、現状を定期的に把握していきます。



戦略の詳細内容は、市のホームページに掲載している本編を見てね。



生物多様性はままつ戦略 2024・概要版

浜松市環境部環境政策課 2024 (令和6) 年3月

〒432-8023 静岡県浜松市中央区鴨江三丁目 1-10

電話：053-453-6149 E-mail：kankyuu@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp

生物多様性はままつ戦略 2024

検索

